

蒔田さん、山口さんを任命

地域おこし
協力隊

スポーツ振興担う

下田市



松木市長から委嘱状を受け取る蒔田さん(左)と
山口さん(中央)＝下田市役所

下田市は1日、地域おこし協力隊としてさいたま市出身の蒔田俊史さん(46)、神奈川県鎌倉市から移住した山口智史さん(37)を任命し、委嘱状を交付した。同市で現在活動中の隊員は4人となった。

蒔田さんはトライアスロンが趣味で、南伊豆や河津の大会にも出場している。今回、スポーツ用品店の店長から転身し、同市のスポーツ振興に携わる。東京出身の山口さんは20年にわたって下田ライ

フセービングクラブで活動しており、勤務先の東京消防庁を退職し、協力隊員としてアウトドアスポーツ振興を担う。

市役所で開かれた委嘱式では、佐々木文夫教育長立ち会いのもと、松木正一郎市長が2人に委嘱状を手渡し、「海をメインとする自然、黒船に由来する歴史と国際交流の町づくり」に、新分野としてスポーツを加えた

に力を発揮してほしい」と激励した。蒔田さんは「下田の自然に親しみ、スポーツの気持ちよさ、楽しさを広めたい」、山口さんは「下田の素晴らしい海、豊かな自然を生かしたスポーツ振興に取り組む」などと抱負を述べた。

2人は市教育委員会生涯学習課を拠点に活動する。任期は来年6月末までで、最長3年となる。

い。言語を越えたスポーツによる交流、振興